

研究実施のお知らせ

2025年8月28日 ver.1.0

研究課題名

婦人科良性腫瘍、婦人科悪性腫瘍に対する手術成績・予後の後方視的解析
1994–2031年における症例統合研究

研究の対象となる方

1994年1月から2029年12月までの35年間に島根大学医学部附属病院を受診し、子宮がん、卵巣がん、子宮良性腫瘍、卵巣良性腫瘍と診断され、手術治療を受けられた方

研究の目的・意義

【背景】 近年内視鏡手術が盛んに行われるようになり、婦人科腫瘍においても腹腔鏡手術・ロボット支援下手術が保険適応となりました。

【目的】 子宮良性腫瘍、卵巣良性腫瘍と診断され手術を受けられた患者さんの手術成績を開腹手術と、腹腔鏡手術で比較検討し、内視鏡手術の有利な点、あるいは不利な点を明らかにいたします。また子宮がん・卵巣がんの患者さんの術式と治療後の状態について、手術の方式により関係があるかどうかを検討します。

【意義】 内視鏡手術を受ける患者さんが増加しており、これまでの開腹手術を受けた患者さんとの手術成績を比較することにより内視鏡手術の安全性について検討することが可能となります。また子宮がん、卵巣がんの術式と手術後の状態についても検討を行うことでより良い手術手技が確立することになるため、研究の意義は大きいと考えられます。

研究の方法

子宮がん、卵巣がん、または良性婦人科疾患で治療目的に手術を受けた患者さんのカルテから 手術成績（手術時間、出血量など）、を調査いたします。また子宮がん・卵巣がんの患者さんについては手術後外来受診の様子についても確認させていただきます。この研究によって得られる個人情報は決して外部に漏れることないように責任をもって厳重に管理します。また、病院関係者にも漏れることないように管理いたします。研究に用いる診療情報、解析データは島根大学医学部産婦人科学講座において厳重に管理します。

研究の期間

登録期間：2025年11月10日～2029年12月31日

総期間：2025年11月10日～2033年12月31日

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。また、結果の透明性の確保のため、解析に用いた個別データを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部産科婦人科学学講座 石川雅子

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2032年6月までにお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができます、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部産科婦人科学講座／附属病院産科婦人科 石川雅子

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2268 FAX 0853-20-2264

研究事務局

島根大学医学部産科婦人科学講座助教山下瞳

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2268 FAX 0853-20-2264